

例会報告

Rotary

高山西ロータリークラブ



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
10 月 大垣城 ② 新井 典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>

フォルトとアウト そしてジャスト

先週の土曜・日曜と 2630 地区の地区大会へ行ってきました。

参加していただきました 15 人の皆様お疲れ様でした。またノエミも参加し下屋さんには伊賀の会場からノエミをご自宅まで送り届けるという大変な仕事をさせていただきました。ありがとうございました。私には心に残る素晴らしい大会でした。後ほど参加報告をしていただきます。よろしくお願いします。

今日はテニスのフォルトとアウトについてお話したいと思います。ラリーが続いてボールがコートに入らなかったときはアウトといひます。相手のサーブがコートの決まった枠の中に入らなかったときはフォルトと言ひます。セカンドサーブもフォルトの時はダブルフォルトといひます。ネットにかかった場合はなにもコールがありません。

フォルトとアウトの違いについては定説がありませんが、私思うにフォルトはもともと欠点、欠陥と意味しますが、サーブは自分で打って（対戦相手はなにもしておりません）「げばす」わけですから、誤り、となると思ひます。アウトは相手が見事なショットを打って、それを返すことが出来なかった、場合など相手の打ったボールがありますので、かならずしも、誤りではないのでアウトと言ひとおもひます。

アウトやフォルトになった場合でも、とっても惜しい場合があります、その時はジャストと言ひることがあります。「JUST」を日本語に訳すと、「丁度、ぴったり」の他にも「ちょっと、ほんの」という意味もあります。ですから惜しい OUT は正確に言ひると「JUST OUT」になりますね。でも、省略して「JUST」とコールする場合があります。

以前お話ししたようにテニスは紳士・淑女のスポーツですから、ここで言ひ「JUST」は「惜しい」という意味になり、相手を称えるいいコールだと思います。「入ってないよ」と言ひ言葉と「惜しいね」と言ひ言葉使ひでは天と地の差あると思ひます。私も「惜しいね」と言ひるように修練を積みたいと思ひます。

<幹事報告>

◎高山市民憲章推進協議会より

- ・高山市民憲章推進協議会文化講演会の開催について(ご案内)
日時 11月13日(月)
18:30 フラワーコンクール表彰式 19:00 開演
場所 高山市民会館小ホール
講演 「地球のステージ〜高山特別版〜」 桑山 紀彦 氏
- ・歴史文化(観光)施設市民無料公開について(ご案内)
日時 11月12日(日)13日(月)
公開施設 市内33施設

◎高山市海外戦略課より

- ・外国人観光客誘客特別講演会のご案内
日時 10月30日(月) 14:00~
会場 ひだホテルプラザ 吉祥の間

<受贈誌>

美濃加茂央 RC (会報)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	34 名	1 名	35 名	40 名	87.50%
本日	31 名	—	31 名	40 名	77.50%

<本日のプログラム>

- 田中 正躬
スライド映写による報告

地区大会報告



ロータリー：変化をもたらす

例会報告

塚本 直人

10月14/15日の2日間、伊賀上野で開催された地区大会に参加しました。20日～22日には上野天神祭のだんじり行事が行われロータリー誌の月信10月号の表紙にもなっています。一緒に行ったメンバーの方と伊賀城にも訪れましたが歴史を感じる高い石垣に圧倒されました。



地区大会1日目は2018年RI研修リーダー 第二ゾーンの高野孫左衛門を講師に迎えた基調講演がありました。私の家は祖父の前まで孫右衛門と名乗っていましたが、祖父の留吉で襲名は終わっています。高野家は甲府の名家で、「敵に塩を送る」という言葉のもとになる行為を先祖がされたとのことでした。塩を扱い、近年では油、石油、そしてそれらを燃料とした自動車を家業として扱い現代まで長く続いています。その高野氏がロータリー活動について貴重な講話をなさいましたので皆様に報告します。

私が最も印象に残ったのは2つのことです。

- ① ロータリークラブの会員とは
自らが従事している職業が、所在する地域社会の中で、役に立つためになるものとなるよう日々研鑽を努力している人たちです。
- ② ロータリークラブは何をしているのか？
上記のような人たちが交流することにより、お互いの研鑽を行う場として例会を開催している。また、その人たちが一体となり地域社会、世界が必要とすることにこたえる活動を行っている。奉仕の理想を奨励し、これを育むことがロータリーの目的である。

「世界を変える国際人」となるように日々研鑽しなければいけないと身が引き締まる思いです。非常に有意義な講演会でした。

大前 克秀

第1日目10月14日(土)

当日は、本会議、基調講演には、出席できず申し訳ありませんでした。18時30分からの懇親会からの出席となりました。会場は、「とろろ庵伊賀路」。運のいいことに、いつもは8月に花火大会があるところ本日にあり、さらに、この会場の部屋から満面の花火を観ることができ感動しました。これも、鴻野幹事の手配のお蔭です、本当にありがとうございました。



第2日目10月15日(土)

9時30分より、開会点鐘。本日の出席者は、1600名。11時10分より、記念講演 俳人 黛まどか氏 「世界の中の俳句」。日本の俳句には、定型17音があり、他の国では字数を決めて作ることはない。俳句は、自然と人の感情を情緒的に読んでいる。その中で特筆すべきは、小動物 蛙 蟬などを世界では読むことはなく日本独特なことです。この小動物については、日本の絵画にも多く見られます。さらに、驚いたことは、雨を表す表現は、英語では10語で日本語では400語ある。

ちなみに、春時雨(はるしぐれ) 春に降る時雨
桜雨、花の雨 桜にかかる雨
花時雨 桜の時期に降る時雨
春雨(はるさめ) 3月下旬から4月ごろまで
降るしっとりした雨

春林(しゅんりん) 春の長雨

など、季節ごとにあり。さらに、状態を表す 豪雨 長雨 地雨 などなど。この講演会を通じて、日本人には本当に豊かな感性があることを、教えていただきました。

伊藤 松寿

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会について報告します。

晩餐会は、本会議場より約1.2km離れたフレックスホテルで開催されました。会に先立ち弦楽四重奏の演奏が四曲披露されました。劔田直前ガバナーの乾杯の発声で晩餐会が開始されました。途中、和太鼓の演奏があったり、花火大会があったりして、色々楽しむことができて春ました。伊勢・志摩サミットで使用された伊賀の銘酒「半蔵」なども堪能しました。



<ニコニコボックス>

●米澤 久二さん、鴻野 幸泰さん

先週の地区大会、遠路はるばる参加された皆様、お疲れ様でした。心に残る地区大会でした。来月のIM、たくさん参加よろしくお祈りします。

●阪下 六代さん

過日の地区大会では、米澤会長・鴻野幹事はじめ同行の会員の皆様に大変お世話になり、お陰様で楽しい2日間を過ごさせて頂きました。第1日目の夜の雨後の曇天の中、季節外れながら本格的な大花火大会を見られたことは、思いがけないごほうびでした。

●内田 幸洋さん、田中 武さん

地区大会は大変楽しくさせて頂きましてありがとうございます。本日の報告者の皆さんよろしく。特に新会員のプロゴルファーの様な大前さん、期待していますので頑張ってください。

●田中 正躬さん

今日は先日の地区大会の様子を写真にしました。写真からどんな風だったか見てもらえると良いかと思えます。細部については他の方が話されるかと思えます。プロジェクターは初めてですのうまく映せるかどうか？よろしくお祈りします。

●伊藤 松寿さん、大村 貴之さん、田邊 淳さん、杉山 和宏さん、榎坂 純一さん、松川 英明さん、萱垣 敬敏さん

10月14日15日に三重県伊賀上野で2630地区の地区大会が開かれました。地区のロータリアンとの懇親もより深まりました。皆様お疲れ様でした。

●田近 毅さん

結婚記念のお祝いの食事券でおいしいランチを頂いて来ました。とても良い企画です。

●折茂 謙一さん

10月14日、四女に男子が生まれました。少し小柄ですが元気なのが頼もしいです。

●井辺 一章さん

10月18日には明智鉄道に乗り、きのこ弁当を食べ効用を楽しんで来ました。23日月曜日には富山へ魚を食べる旅へ出かけます。

●伊藤 松寿さん、山下 直哉さん、向井 公規さん、大前 克秀さん

ノエミは斐太高校の秋の遠足に行きました。金沢で21世紀美術館などを満喫してきましたようです。楽しい学園生活を送っています。

